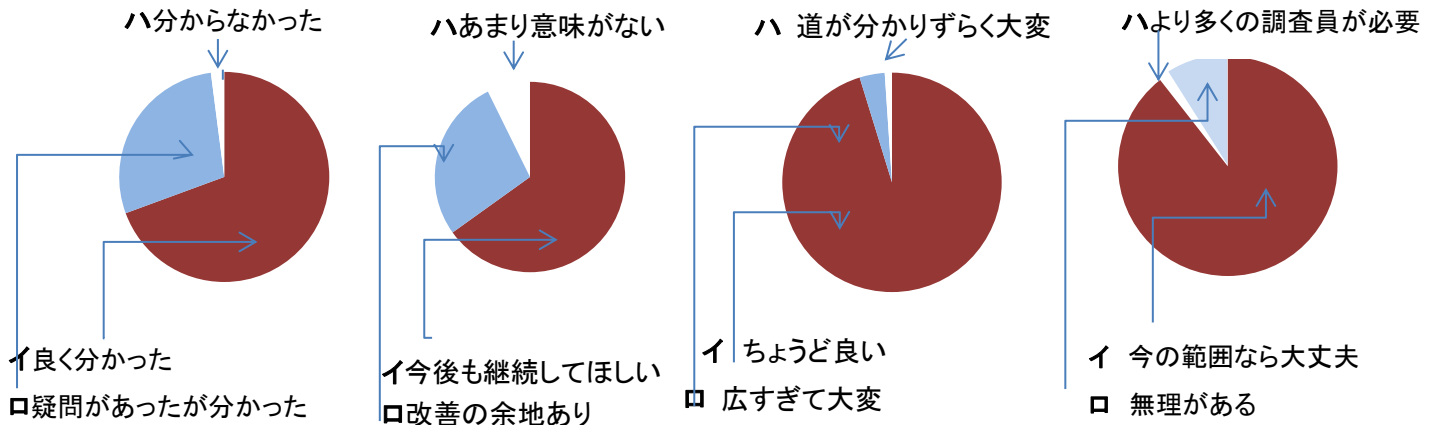


アンケートの結果

問1 訓練の理解はできましたか？ 問2 今後の安否確認は？ 問3 受け持ち範囲は？ 問4 全戸ではどうですか？



問5 いろいろなご意見

目印について

- ① 目立つ色、目立つ形状が良い（皆同じものが分かりやすい）
- ② マンションは難しい、ベランダに掛けてあってもどの部屋か確認しづらい。
- ③ 赤松自治会の 黄色いハチマキが一目でわかってよい

目印を出す時間、引き上げる時間

- ① 目印を出す時間は訓練開始時間より早くする。（時間前には出してない家もある）
- ② 引き上げ時間を記入する。長時間出しっぱなしではサギ被害に悪用されかねない（高齢者対象と分かれば）

確認数と確認の仕方

- ① 世帯数で確認か？人数で確認か？ 事前にきちんと確認すべき。
- ② 防災の日の近くが関心が高いのでは・・・
- ③ アパート等の集合住宅は確認に手間取る。外から確認できるよう窓やベランダに掛けてもらった方が良い。
- ④ 一人での確認は不測の出来事があった時心配。二人が良い。

その他、今後への課題 など（このほかにもたくさんのご意見、ご提案、反省点などいただきました）

- ① 安否確認情報をどのように活かすのか（市への情報提供、掲示板にまとめる等）具体的に知りたい。
- ② 継続することで自覚が出ると思うので訓練が必要（年2回位が必要）
- ③ 阪神淡路大震災の経験者として安否確認は実際難しいと思う、発生数日経過してからの安否確認は可能だと思う。
- ④ 訓練を行うことは前進だと思うが、準備不足、連絡不足と言うか内容をしっかり決めて行ってほしい。

無線機の使用について

- ① 事前の感度交換が必要（各現場に着いた後）各自治会で本部と拠点間のCH数を決めて混線しないようにする。

終了後の報告について

- ① 確認項目を書いたものを渡されるとスムーズに集計ができる。

本部メモ

防災対策課

- ① 各拠点を回ってみて、無線の使い方がだんだん慣れて上手になってきた。
- ② 各自治会でそろえたユニホーム、チョッキが目立っていてとてもよかった。
- ③ タオルなど見やすいところにかけてあってよかった。
- ④ 回覧物が多くて、この訓練の重要性が分からない人がいたのではないかな？
- ⑤ 市の非常食が改良され、アレルギーの人にも適応した非常食を用意してある。

* 安否確認は、世帯数か個人数か？

配備職員

- ① 訓練の目的によるが 実際の災害の場合は毛布、薬品、食料等がどれ位必要かが違ってくるので個人数が必要